

## ◆セルフトレーニング問題2017◆

### ■ 問題 ■

問題 1 動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017年度版における脂質管理目標設定について誤っているのはどれか。2つ選べ。

- (a) 冠動脈疾患の既往により一次予防と二次予防に分けられる。
- (b) 糖尿病（耐糖能異常は含まない）があると高リスクになる。
- (c) 治療中の高血圧があると血圧値には関係なく高リスクになる。
- (d) 高リスクとなる疾患がない場合は吹田スコアか危険因子の個数を用いてリスクの程度を分類する。
- (e) 高リスクとなる疾患がない場合のリスク分類項目には心筋梗塞家族歴が含まれる。

問題 2 人間ドック健診を受けた1,000人のうち、空腹時血糖（FPG）が110mg/dL以上の受診者が120人いた。一方、この1,000人に糖負荷試験を実施し、糖尿病の受診者が100人いた、FPGが110mg/dL以上の受診者で糖尿病は60人であった。FPGをスクリーニング検査、糖負荷試験を確定検査法とした場合のスクリーニング検査の感度 sensitivity はいくらか。1つ選べ。

- (a) 40%
- (b) 50%
- (c) 60%
- (d) 86%
- (e) 93%

問題 3 慢性腎臓病（CKD）の診断に必要ないのはどれか。1つ選べ。

- (a) 性別
- (b) 年齢
- (c) 尿所見
- (d) 1日尿量
- (e) 血清クレアチニン値

問題 4 2010年に公表されたアメリカリウマチ学会とヨーロッパリウマチ学会による新しい関節リウマチ（RA）分類基準で記載された急性炎症反応はどれか。2つ選べ。

- (a) 赤沈値
- (b) リンパ球数
- (c) フィブリノゲン
- (d) 白血球数
- (e) C反応性蛋白（CRP）

問題5 41歳 男性頭部 MRA (MR angiography) (下図) で, 脳底動脈に認められる疾患や病態はどれか. 1つ選べ.

- (a) 紡錘状動脈瘤
- (b) 動脈解離
- (c) 動静脈奇形
- (d) 窓形成
- (e) 遺残三叉動脈



問題6 特発性肺線維症を臨床的に診断するにあたり, 重要な項目はどれか. 2つ選べ.

- (a) 緩徐な発症
- (b) 両側肺野の水泡音
- (c) 咳嗽・喀痰の増加
- (d) 年齢40歳以上
- (e) 症状発現より3ヵ月以上の経過

問題7 アトピー性皮膚炎について, 誤っているのはどれか. 1つ選べ.

- (a) 皮膚バリア機能不全が基盤にある.
- (b) 20~50%はフィラグリン遺伝子異常をもつ.
- (c) ほとんどは成人になると改善する.
- (d) 焦り, 不安や怒りなどは搔破行動の誘因となる.
- (e) 重症化する例では心理社会的ストレスの関与を考慮する.

問題8 喫煙が危険因子となるのはどれか. 1つ選べ.

- (a) 脳出血
- (b) 脳塞栓症
- (c) 脳動脈解離
- (d) くも膜下出血
- (e) 脳静脈血栓症

問題9 多発性骨髄腫を疑う血液検査所見ではないものはどれか。2つ選べ。

- (a) 総蛋白高値
- (b) A/G 比の低下
- (c) 血清γグロブリン高値
- (d) 血清アルブミン高値
- (e) 赤沈の遅延

問題10 がんの疫学について正しいのはどれか。2つ選べ。

- (a) がんの死亡率に、男女差はない。
- (b) 日本人の死因のうち、がんの占める割合は約30%である。
- (c) がんの罹患数は、今後減少していくと推測される。
- (d) がんは、昭和56年(1981年)から死因の第1位を占めている。
- (e) 日本人の死因の第1位はがん、第2位は脳血管疾患、第3位は心疾患である。

問題11 眼底検査で異常が見られないのはどれか。2つ選べ。

- (a) 白血病
- (b) 糖尿病
- (c) 胃潰瘍
- (d) 慢性閉塞性肺疾患
- (e) 腎不全

問題12 46歳男性。腹囲は96cm。メタボリックシンドロームの診断に入らないが、特定保健指導の対象となりうる項目はどれか。1つ選べ。

- (a) HDL コレステロール 38mg/dL
- (b) 拡張期血圧 86mmHg
- (c) 収縮期血圧 134mmHg
- (d) 空腹時血糖 106mg/dL
- (e) トリグリセリド 160mg/dL

問題13 脳ドックに整備すべき機器はどれか。2つ選べ。

- (a) マルチスライス CT 装置
- (b) 高性能 MRI 装置
- (c) 超音波検査機器
- (d) 血管撮影装置
- (e) PET または SPECT 装置

問題14 糖尿病網膜症の眼底所見として誤っているのはどれか。1つ選べ

- (a) 銀線動脈
- (b) 点状出血
- (c) 軟性白斑
- (d) 新生血管
- (e) 硝子体出血

問題15 次の文章で正しいのはどれか。2つ選べ。

- (a) リスボン宣言は、患者の権利に関するものであるが、自己決定権の採択ではない。
- (b) インフォームド・コンセントは、日本で開催された世界医師会総会でヘルシンキ宣言に追加された。
- (c) ヒポクラテスの誓いには、守秘義務について述べられていない。
- (d) ジュネーブ宣言は医師としてのありかたに関する宣言で、守秘義務が盛り込まれている。
- (e) ニュルンベルク綱領には、インフォームド・コンセントが含まれている。

問題16 消化管の憩室について誤っているものはどれか。1つ選べ。

- (a) 食道憩室は小腸や大腸の憩室よりも発生頻度が低い。
- (b) Zenker 憩室は咽頭食道の前壁に生じるものをいう。
- (c) 胃憩室は胃穹窿部後壁に見られるものが多い。
- (d) 十二指腸憩室で最も多いのは、傍乳頭憩室である。
- (e) 傍乳頭憩室は、胆道結石や胆道感染の発症と関係している。

問題17 感音難聴が生じるのはどれか。2つ選べ。

- (a) 前庭神経炎
- (b) 騒音性難聴
- (c) 突発性難聴
- (d) 滲出性中耳炎
- (e) 耳小骨連鎖離断

問題18 成人の動脈血ガス分析 (room air) の異常値はどれか。1つ選べ。

- (a) pH : 7.41
- (b) PaO<sub>2</sub> : 94Torr
- (c) PaCO<sub>2</sub> : 55Torr
- (d) HCO<sub>3</sub><sup>-</sup> : 25mEq/L (mmol/L)
- (e) 酸素飽和度 : 98%

問題19 尿検査について正しいのはどれか。1つ選べ。

- (a) 高血圧時には尿糖が出現する。
- (b) 起立性蛋白尿は腎予後が不良である。
- (c) 顕性蛋白尿は糖尿病性腎症の早期発見に有用である。
- (d) 血尿とは、新鮮尿において尿中赤血球が4ヶ/HPFを指す。
- (e) IgA腎症では血尿のみでも蛋白尿の検出が重要で、最低6ヵ月に1回は検尿する必要がある。

問題20 卵巣悪性腫瘍で上昇しない腫瘍マーカーはどれか。1つ選べ。

- (a) CA19-9
- (b) SCC
- (c) CA125
- (d) CEA
- (e) SLX

問題21 60歳男性。12年前に胃がんのため胃全摘術を受けた。1年前からふらつきを自覚し、最近、両上下肢のしびれ感および味覚異常が出現していた。人間ドック受診時、結膜に貧血、舌に発赤、両足背に浮腫を認めた。末梢血液データは赤血球153万/ $\mu$ L、Hb 7.7g/dL、Ht 23%、網赤血球1.2% (12%)、白血球 2,710/ $\mu$ L、血小板 11.7万/ $\mu$ L。血液生化学所見はAST 12IU/L、ALT 27IU/L、LDH 700IU/L (基準110~220)。この受診者について正しいのはどれか。2つ選べ。

- (a) 鉄欠乏を伴う。
- (b) 小球性貧血である。
- (c) 直ちに赤血球輸血を行う。
- (d) 治療はビタミン B<sub>12</sub> 非経口的投与が原則である。
- (e) 神経症状は治療後速やかに改善する。

問題22 特定健康診査の詳細な健診項目に含まれないのはどれか。2つ選べ。

- (a) 喀痰検査
- (b) 眼底検査
- (c) 貧血検査
- (d) 12誘導心電図
- (e) 腹部超音波検査

問題23 うつ病について正しいのはどれか。2つ選べ。

- (a) うつ病は女性より男性に多い。
- (b) うつ病の約50%が精神科以外の科を受診する。
- (c) デイスキミア親和型うつ病は中高齢者に多い。
- (d) うつ気分は午前中に強く、夕方にかけて軽減してくる。
- (e) メランコリー親和型うつ病では休養が必要なことが多い。

問題24 次のうち、骨粗鬆症を来しやすい疾患として誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (a) 慢性閉塞性肺疾患（COPD）
- (b) 関節リウマチ
- (c) 原発性副甲状腺機能亢進症
- (d) 慢性腎不全
- (e) 先端肥大症

問題25 大動脈弁狭窄症について誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (a) 進行性疾患である。
- (b) 罹患患者が増加している。
- (c) 心機能低下があっても症状がなければ経過観察になる。
- (d) 脂質代謝異常症は大動脈弁狭窄症の危険因子である。
- (e) 高齢者では退行変性によるものが多いと考えられている。